

1.01の法則を活用して幸運を掴もう！

豆蒔きの季節が近づいて来ました。季節の変わり目は邪気が入りやすいと考えられ、立春前日に邪気を祓い清めて一年間の無病息災を祈願する「節分行事」が、大昔から続けられています。しかし、今年も新型コロナウイルスの影響により、神社などでは豆蒔きの中止を余儀なくされています。

現在、新型コロナウイルスに脅える日々が続いていますが、人の切なる願いとは、今も昔も変わらない、病気や災害に遭うことなく健康で長生きすることです。だからこそ、人は、幸運・恵の「ご利益」を得るために、眼に見えない力を信じて神様に祈願するのです。

誰もが幸運を掴み、幸せになりたいですが、時には「運命」に左右され、不幸を招くこともあります。もし命に関わる出来事が身に迫った時、「運が悪かった」では済まされません。その「運命」とは、人の意志や想いをこえて人に幸・不幸を与える力と辞書に記されています。自分の意志や想いでどうすることもできない「不運な運命」を「幸運な運命」に変えることはできないのでしょうか？

点灯の神様は、『運命は人間を支配するものにはあらずして、運命を左右するところのものは、人間の観念なるものなり』と仰せです。つまり、運命は、自分の心(観念)次第で「幸運な運命」に変えられると言うことです。

アメリカの哲学・心理学者であるウィリアム・ジェームズは、「心が変われば ⇒ 行動が変わる 行動が変われば ⇒ 習慣が変わる 習慣が変われば ⇒ 人格が変わる 人格が変われば ⇒ 運命が変わる」と名言されています。

心を変えるのは非常に難しいです。そうであれば、心を変えるために、まずは、人のためになる「行動」を起してみましよう。その行

動は、今よりほんの少し前進して、毎日コツコツとできれば良いです。皆さんは「1.01の法則」をご存じですか？今の自分が1だとすると、1を何回かけても答えは1であり、一年後も1の365乗は1です。ところが、1が1.01になると、1.01の365乗は37.78となり、一年後は今より37倍も前進(成長)しています。このように、今よりほんの少し、毎日コツコツと人のために行動を起せば、それが良い習慣となり、良い人格が形成されて、運命も開かれて行くのではないのでしょうか。

心を変えて行動を起こすのは、口で言うほど簡単ではありません。しかし、心を変えて行動を起こさない限り、運命を変えることはできません。そこで、皆さんにお勧めするのが「日日点灯」の実践です。

日日点灯は、毎日、点灯の神様に「世界平和」と「人類幸福」を祈願する救いの道です。日日点灯は、周りの人々の心に点灯の光を灯し、自分の心にも灯り照らされます。初めは小さな灯火でも、毎日コツコツと実践することで大きな灯火となり、やがて点灯する人の輪が広がって世界が光明化し、世界平和が実現されるのです。

日日点灯は、『開運・延命・救霊・除災・安産・謝恩・繁栄』の七つの恩寵が開かれる祈願です。毎日コツコツと世と人のために点灯することによって、人を「許し・慈しみ・助け合う」愛の心へと切り替えて下さり、開運、延命・・・と「幸運を掴む」ことができます。是非、日日点灯を実践して、「世界最大の功德」である世と人のために祈り、運命を切り替えて行きましよう！人の道を正しく歩み、徳を積む人の上に「ご利益」が働くのです。

「点灯とともに」についてのご意見やご感想などを、編集部にお寄せください。